

保護者の皆様

札幌市立前田北小学校
校長 松本 昌也

『全国学力・学習状況調査の結果』概要のお知らせ

今年度 4 月 27 日に小学校第 6 学年の児童を対象に全国一斉「全国学力・学習状況調査」が実施され、7 月末に文部科学省・札幌市より調査結果が公表されました。つきましては、本校の調査結果の概要についてお知らせいたします。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御承知おきください。

＜本校の概要＞

【国語】

本校の概要	◆「言葉の特徴や使い方に関する事項」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「情報の扱い方に関する事項」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「話すこと 聞くこと」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「書くこと」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「読むこと」は、全国平均と比べ、やや下回っている。
課題	①比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができるかどうか。 ②筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうか。 ③考えとそれを支える理由や事例など情報と情報との関係について理解することができるかどうか。 ④学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうか。
改善の方向	①比喩や反復などの表現の工夫に気付き、まとめて整理する学習活動の充実 ②筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える学習活動の充実。 ③考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解していく学習活動の充実。 ④6 学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、6 学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使う学習活動の充実。

【算数】

本校の概要	◆「数と計算」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「図形」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「測定」は、全国平均と比べ、ほぼ同程度であるが、やや上回っている。 ◆「変化と関係」は、全国平均と比べ、下回っている。 ◆「データの活用」は、全国平均と比べ、下回っている。
課題	① 立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうか。 ② 百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができるかどうか。 ③ 整数と小数の減法の計算をすることができるかどうか。 ④ 異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述できるかどうか。 ⑤ 帯グラフの特徴と使い方を理解し、およその割合を読み取ることができるかどうか。
改善の方向	① 図形を構成する要素に着目し、立方体や直方体の体積が、縦、横、高さの長さを使って計算で求められることを理解できるようにする学習活動の充実。 ② 問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができるようにする学習活動の充実。 ③ 小数の加法及び減法の計算が、整数と同じ原理、手順でできることを理解できるようにする学習活動の充実。 ④ 数を構成する単位に着目し、数の相等及び大小関係について考察できるようにする学習活動の充実。 ⑤ 目的に応じて収集したデータを帯グラフに表し、データの特徴を捉えることができるようにする学習活動の充実。

【質問紙調査】

※ 生活や学習、地域に対する思いなどへの質問のうち、全国平均と比較して顕著なものです。

●『普段（平日）1日当たりどのくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴をしますか』（スマホ等で学習する時間やゲームする時間を除く）という質問に対し「3時間以上」と答えた児童は、全国の解答率に比べて多い。 ●『あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか』という質問に対し、「よくある」「たまにある」と答えた児童は、全国の解答率に比べて少ない。 ●『あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますと思いますか』という質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童は全国の解答率に比べて多い。 ●『将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか』という質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童は、全国の解答率に比べて少ない。 ●『これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）』という質問に対し、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と答えた児童は、全国の解答率に比べて少ない。
